

建築法規

教 科	工業	単位数	2	学科・学年	建設工学科建築類型 2 年生
使用教科書	「建築法規」(実教出版)			副教材等	よくわかる建築基準法(ナツメ社)、 建築基準法令集(オーム社)

◇ 学習の到達目標 ◇

- ① 建築基準法を中心に、関連するその他の基本的な法令や規程について学習します。
 ② 安全で健康的な建築物の設計、施工、監理などをするため、法解釈の基礎的な能力を育成します。

◇ 科目の特色 ◇

建築基準法や関連法規の条文理解・解釈と演習問題を中心に学習します。難解な法律用語と建築専門用語との関係など、建築生活空間の悪化を防ぐ基本的なルールについて理解します。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	第 1 章 建築法規のあらまし 第 2 章 個々の建築物にかかわる規定 1) 一般構造についての規定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築法規の起源、意義、基本用語を理解する。建築基準法令集を具体的に検索して、教科書の内容を確認する。 ・ 一般構造についての規定、採光と日照に関する規定を理解し、適用する。 【前期中間考査】
7 9	2) 構造強度についての規定 3) 防火と避難についての規定 4) 設備についての規定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 構造強度の一般的な規定を理解する。 ・ 火災の拡大防止や避難のため方策を理解する。 ・ 衛生設備、配管設備、換気設備の役割を理解する。 【前期期末考査】
10 12	第 3 章 良好な都市環境をつくるための規定 1) 都市計画法と建築基準法・土地利用 2) 道路と敷地・密度に関する規定・形態に関する規定・良好なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市計画法の目的、建築基準法の集団規定の目的を理解する。 ・ 土地利用、道路と敷地の規定を理解する。 ・ 密度、形態(高さ制限)に関する規定を理解する。 【後期中間考査】
1 3	第 4 章 手続きなどの規定 第 5 章 各種の関係法規	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築確認等の規定の手続き規程を学習する。 ・ 施工状況の報告、検査、工事現場に関する手続きなどを理解する。 ・ 都市計画法、建築士法、建設業法など、関連した法規の役割を学習する。 【後期期末考査】

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	建築法規に関する基礎的な知識と技術について関心を持ち、意欲的に取り組めるか。
思考・判断・表現	建築法規に関する思考を深め、さまざまな知識と技術を活用して、理論的かつ多面的に判断する能力を身に付けているか。
技能	建築法規を的確に理解し、その成果を他に伝えることができるか。
知識・理解	建築法規の各分野に関する基礎的な知識と技術を身に付けているか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

- ① 授業中における学習態度 ② ノート提出 ③ プリント提出 ④ 定期考査
 ⑤ 自己評価・授業評価の際に記入したプリント

また 1 年間の評定は、前期・後期の年間を通して、総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

将来の 2 級建築士を目指すなら、この建築法規をしっかりと理解することです。安全で健康的な建築物の設計・施工・監理などをするため、法解釈の基礎的な能力を身に付けましょう。